

【提案項目】

41 地域の実情に沿った医療施策について

【提案要旨】地域の実情に沿った医療施策

■提案事項

○ 医師の確保について、地域偏在や診療科偏在の是正策に取り組むこと

国は二次保健医療圏別の状況分析等を進めた上で、大学が主体的に地域と連携して医師の育成及び医師不足の地域・診療科への医師派遣に取り組むよう、責任を持って大学への指導や制度改革を講じることが必要である。

○ 適切な医療提供のできる二次保健医療圏とすること

適切な二次保健医療を提供するため、地域の実情に応じた医療圏の見直しや基準病床数制度の柔軟な運用が必要である。

○ 二次救急医療に対する支援制度を拡充すること

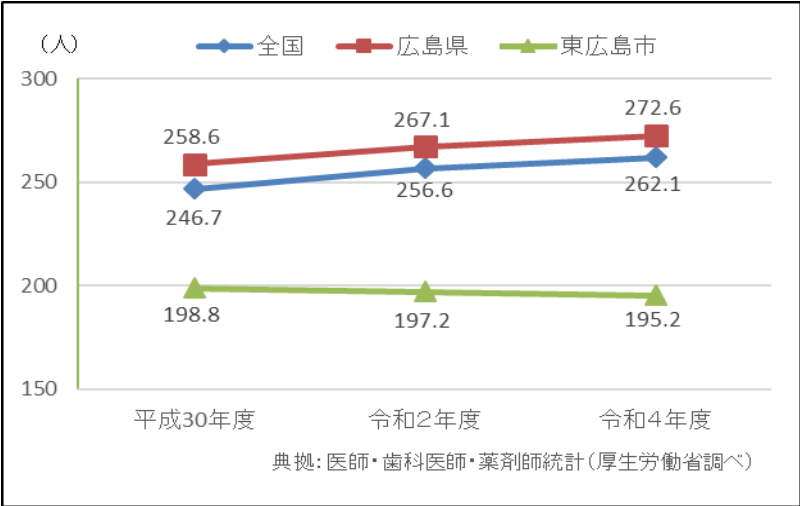
地域の実情に応じた、二次救急医療の対策を講じるための支援制度が必要である。

【提案先：厚生労働省】

東広島市の現状と課題・取組状況

- 本市においては、臨床研修病院が東広島医療センターのみである等の理由から、地域医療を担うべき医師の確保が他圏域に比して非常に困難な状況となっている。また、本市の人口は増加傾向にある中、人口10万人当たりの従事医師数や医師偏在指標は、広島県及び全国を大きく下回っており、その差も広がってきている。
- こうした医師不足の現状から、二次救急病院群輪番制では、病院により当番日数の偏りが生じたり、東広島市休日診療所でも出務医が不足するなど、医療体制の維持・継続が困難な状況になりつつある。
- 東広島医療センターへの救急搬送を分散させ、地域での救急医療強化を図るため、令和5年度から平日昼間の二次救急当番日において医師を確保した医療機関に対して補助金を交付する取り組みを行っている。

【人口10万人対従事医師数】



【東広島市の国勢調査人口の推移】

	H22	H27	R2
人口	190,135人	192,907人	196,608人
増加人口	+5,705人 (+3.1%)	+2,772人 (+1.5%)	+3,701人 (+1.9%)

【医師偏在指標の圏域別の状況】

区 分	医師全体			分娩取扱医師			小児科医師		
	偏在指標	順位	備考	偏在指標	順位	備考	偏在指標	順位	備考
全国	255.6	-		10.5			115.1		
広島県	254.2	22		8.6	41	下位	101.1	38	下位
広島	298.9	41	多数区域	9.9	114		104.7	165	
広島西	239.1	82	多数区域	3.9	269	少数区域	148.5	30	
呉	266.7	60	多数区域	9.9	111		116.6	114	
広島中央	200.4	159		6.0	249	少数区域	75.4	271	少数区域
尾三	198.2	169		9.4	130		93.4	198	
福山・府中	201.3	154		7.6	186	少数区域	84.4	234	少数区域
備北	219.8	107	多数区域	9.1	139		107.5	148	